

人間国宝 山本晃追悼展

詩情の軌跡



2026年1月31^土・3月22^日

【入館料】無料 【開館時間】9:00～17:15(入館は17:00まで) 【休館】月曜日、2月3日・11日・24日、3月3日

光市文化センター

光市光井9-18-2 TEL 0833-72-5800

主催 光市・光市教育委員会・(公財)光市文化振興財団
協力 山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAMAMI MUSEUM



金工作家 山本 晃

(やまもと あきら)
1944年5月27日～2024年12月28日

金属工芸としての風格を基盤に更なる新しさを模索しつつ、夢中で創作し
続けた生涯でした。

「仕事も趣味も遊びも全て作ること。
ただ楽しくて、楽しくて。」

穏やかな気候に育まれた満ち溢れる自然によって形づくられる無限の象
(かたち)は、常に山本にデザインテーマを与えていました。

幾種もの金属のそれぞれに異なる個性を融合させながら創り上げられた
山本晃の世界は観るもののに心に郷愁と感動、そして伝統工芸のもつ奥深い
魅力を語り続けます。



切嵌象嵌接合せ杏炉「響」
深閑とした樹林の中を、樹々の声が木靈(こだま)する



切嵌象嵌接合せ箱「晩夏」
大胆な造形のトウモロコシの全貌は去りゆく夏の忘れ形見か
蛙の存在が春開気を和します

金工略歴

- 昭和62年 日本伝統工芸展NHK会長賞受賞
- 昭和63年 日本伝統工芸展奨励賞受賞
- 平成5年 日本金工展鑑・審査委員(以後3回)
- 平成6年 日本伝統工芸展鑑査委員(以後3回)
光駿前モニュメント「輝翔の詩」制作
- 平成25年 日本伝統工芸展奨励賞受賞
- 平成26年 MOA岡田茂吉賞大賞受賞
重要無形文化財「彫金」保持者認定
中国文化賞受賞
光市ふるさと栄誉市民授与
- 平成28年 旭日小綬章受章
- 平成30年 山口県立萩美術館・浦上記念館
彫金のわざと美「山本晃の詩想と
造形」展開催

主な所蔵先

美智子上皇后陛下、文化庁、宮内庁、
東京国立近代美術館、MOA美術館、
式年遷宮記念神宮美術館、大本山薬師寺、
メトロポリタン美術館、広島県立美術館、
山口県立萩美術館・浦上記念館、
光市文化センター



切嵌象嵌接合せ箱「春光」
春の訪れを予感させやわらかな陽
デザイン化された水仙が作品を引き締める



銀金彩合子「うずら」「おしどり」
ま~るい合子 何を入れるの? 「あなたの夢を入れてください」

[1月31日(土)10時オープニングセレモニー開催]

オープニングセレモニー終了後に山本久代様によるギャラリートーク。展示物として数々の金工作品の他、デザイン画や図録など貴重なものも展示します。